

7月の研修終了につき、その時の様子をご報告。

7月1日（土） 看護研修センター

「もう悩まない！深める倫理、使えるコミュニケーションスキル」

というテーマで日本赤十字社和歌山医療センター 精神看護専門看護師の榎本 裕紀子
講師により講義を実施した。

参加者は109名であった。

研修の初めにまず、「あなたはどのような看護師像を持っていますか？ どんな看護師になりたいですか？」という問いかけから個人ワークを行い、その後隣の人と共有し、何人かの発表後に講義に入った。

この問いかけは研修の最後にも同じワークがあり、講義を聞く中で自分の看護師像ややりたい看護師というものを見つけることができる研修であった。

午前中はコミュニケーションについて。

敬語の使い方や病院での敬語が正しく使えるように実際の場面を想定して、考えて行った。

自分が話をする相手に対する言葉遣いや自分が相手の話しを聞く時の言葉遣い、その時どのような言葉が「話して良かった。相談して良かった」と感じるか。その言葉遣いを学習した。単に言葉だけでなく、その時の話し方、声の大きさ、雰囲気、話をする場所などいろいろな条件が聞き手の感じ方を左右することを学び、今後の仕事にすぐに活用できる内容だった。

午後からは倫理について。

倫理綱領をもとに「倫理とは」を考えて行く。午後の後半は事例を使い、グループワークを行う。新人研修だったためか初めはグループワークがなかなか進まず、自己紹介だけでもかなりの時間を要し、事例を考えるにも数分間は静かな時間が経過していた。徐々に言葉が出始め、看護師ジレンマや倫理の原則などを考え、それを模造紙にまとめて、最後に各グループの模造紙を全員が見て回るという形式だった。難しい事例ではあったが、最後にはグループ内でいい感じにまとめられていた。同じことを伝えるにしても模造紙の使い方、ペンの色使い、書き方でかなり伝わり方に違いがあることも学ぶことができていた。

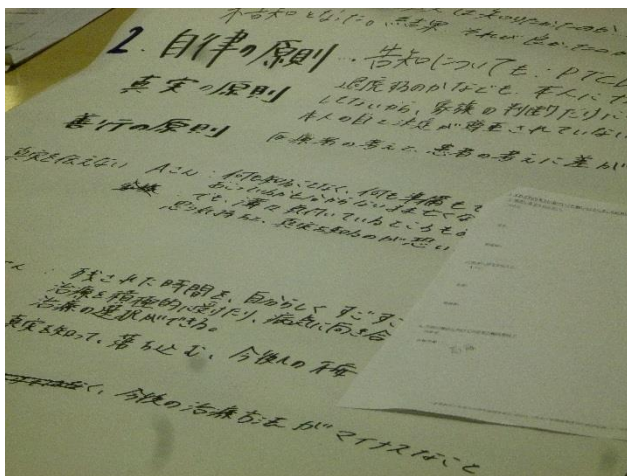
看護職にとって大事な倫理を学ぶことができた研修会だった。



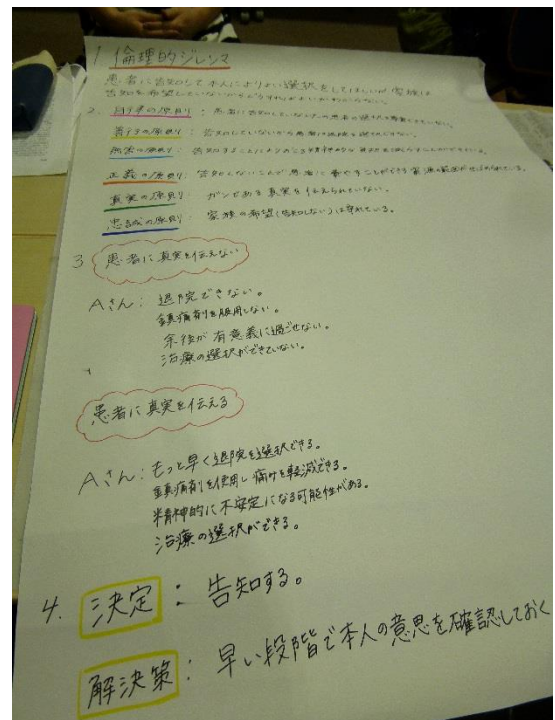
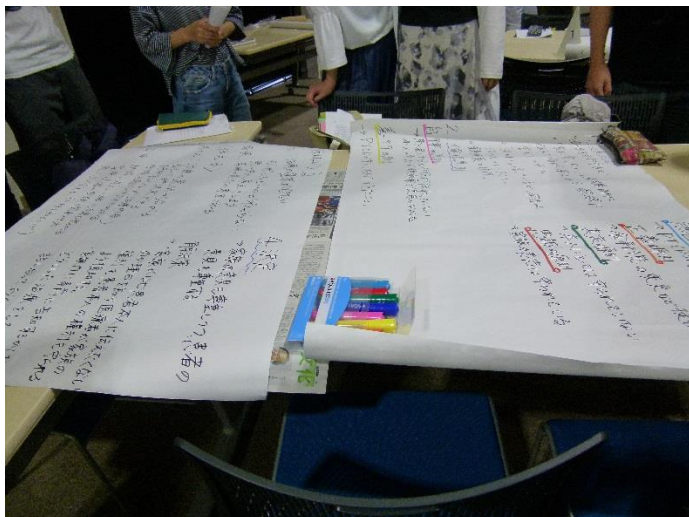
(午前中の講義風景)



(午後からのグループワーク。この日の担当である教育委員も講師と一緒にグループを回り、助言してくれた。)



(グループワークでの内容を模造紙にまとめている最中。)



(出来上がったら各グループを回って見ている。1枚の模造紙で足りず、2枚使っているグループもあった。)



(最後に発表をして、研修が終了した。)

7月8日(土) 看護研修センター

「周産期のメンタルヘルスケア」

というテーマで和歌山県立医科大学保健看護学部 准教授で 精神看護専門看護師の
武用 百子 講師により講義を実施した。

参加者は24名であった。

午前中はストレスについて、妊産婦に合併する精神疾患の病態と援助方法などを学ぶ。
ストレスの発生機序から呼吸法以外に看護職ができる方法を学習して、自分たちも体験した。精神症状の観察についても外見からどのようなことがわかるかということを考えて対象の全体像を把握するためのポイントを学ぶ。

午後からは講師が学校で自作したビデオを見ながら、面接の技法を学ぶ。

その後、この事例ではどんな情報があればいいか。どんな聞き方をすればいいかをグループワークを行う。講師が持参してくれたミニのホワイトボードにワークの内容をまとめていき、その後援助の方法をロールプレイしながら体験していった。

講義だけでなく、グループワークを行い、それ以外にいろいろな方法を取入れた体験型の研修会であった。



(午前中の講義風景)



(午後からのグループワークでホワイトボードにまとめている。)



(ロールプレイ。助産師役・お母さん役・こうすればいいのではと助言をする役に分かれて演技中)



(最後にまとめをして研修が終了した。)

7月15日(土) 看護研修センター

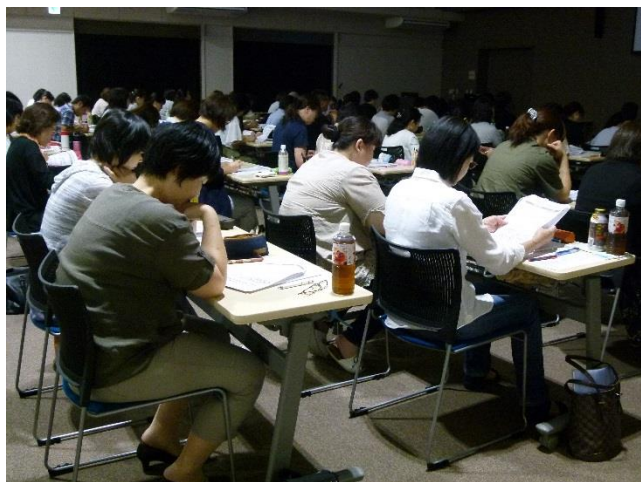
「看護補助者の活用推進のための看護管理者研修」

というテーマで午前中はDVDを聴講、午後からは認定看護管理者4名をファシリテーターとしてグループワークを実施した。

参加者は78名であった。

午前中のDVD聴講の際にはミニワークを、午後は事前に希望を確認していた課題をもとにグループワークを行う。午後のグループワークではオリエンテーションで司会と書記を行うのみで、発表はファシリテーターが行うことを説明していたためか、熱心に集中して、そしてリラックスして話し合いができたようであった。

最後にファシリテーターがそれぞれのグループの話し合い結果をまとめてくれる。
終了して、管理者の皆さんが各施設に持ち帰って考える課題が明確になったり、再度内容を検討する必要性を考える研修であった。



(DVD による聴講風景)



(DVD 中のミニワーク)



(ファシリテーターに助言してもらいながらのグループワーク)



(最後にファシリテーターによる発表で研修は終了した)